

# バス、制限速度で走行か

## 北海道5人死亡 現場、事故対策なく

北海道八雲町の国道で

トラックが都市間高速バ

スに衝突し、5人が死亡

した事故で、バスは事故

直前まで制限速度とほぼ

同じ時速約50キロで走行し

ていたとみられることが

21日、運行していた北都

交通(札幌市)への取材

で分かった。現場にトラ

ックのブレーキ痕はな

く、道警は2台にかなり

強い衝撃が加わったとみ

て調べている。

国が2013年に現場

を含む町内の国道5号の

うち14キロを「事故危険区

間」に指定したが、現場

付近は対策が取られてい

なかったことも判明。国

土交通省北海道開発局

は、近年死亡事故はなく、

後回しになっていたとし

ている。

北都交通によると、速

度はバスの運行記録計

(タコグラフ)に残って

いた。

トラックはブレーキを

かけた痕跡がなく、スピ

ードを出したまま反対車

線のバスと正面衝突した

とみられ、道警はトラッ

ク側に過失があったとみ

て自動車運転処罰法違反

(過失致死傷)の疑いで

捜査している。

北海道開発局による

と、現場はカーブが少な

くスピードを出しやす

いほか、景色が単調で眠

くなりやすく、実際に死

亡事故も発生。現場付近

以外の区間では同局が

音や振動で車線逸脱を警

告する中央線を設置する

などの対策を取ってい

た。